

CONTENTS

インプラント治療前処置編

- ▶ 下顎IODの選択に際して角化粘膜の量が不足している
- ▶ 上顎洞粘膜の肥厚とインプラント処置
- ▶ サイナスリフトを予定した上顎洞の洞粘膜肥厚が治まらない
- ▶ インプラント埋入希望患者が上顎洞炎を発症していたら？

インプラント埋入手術トラブル編

- ▶ 術中に大量出血を起こした
- ▶ 予定した埋入深度まで入らない
- ▶ 大臼歯への抜歯即時埋入で初期固定が得られない
- ▶ 上顎洞底挙上術で洞粘膜が穿孔してしまった
- ▶ 歯肉が足らずに縫合できない
- ▶ 隣在歯の歯根と接触してしまった
- ▶ 上顎洞内の造成骨が吸収して消失
- ▶ オトガイ神経領域に知覚異常を認めた
- ▶ 下顎臼歯部に埋入したインプラントが舌側骨を穿孔した

治癒期間中のトラブル編

- ▶ 術後数日で2回法のカバースクリューが露出した
- ▶ 骨質が悪くてインテグレーションが獲得できなかった
- ▶ 上部構造（アバットメント）装着時のトルクで痛みを訴えた
- ▶ インプラント体が上顎洞に迷入した
- ▶ 暫間補綴後に前頭部を締め付けるような痛みがあるとされたら
- ▶ 手術翌週からの疼痛　そして、激痛へ
- ▶ 埋入後約1カ月でインプラント体が動揺してきた

補綴処置トラブル編

- ▶ 埋入されているインプラント同士が近接しすぎて印象が採れない
- ▶ インプラントの埋入方向に平行性がなくオーブントレーでの印象採得ができない
- ▶ 二次手術時に角化粘膜の不足が確認された
- ▶ 余剰セメントが除去しきれない
- ▶ セメントの余剰を少なくするためには
- ▶ インプラント頸部の金属露出を防ぐためには
- ▶ 隣在歯との歯肉縁の位置が合わず連続性が得られない

予後のトラブル編

- ▶ インプラント周囲が腫れた
- ▶ インプラントの周りから出血する

- ▶ ブラッシング時にインプラントの周囲に違和感がある
- ▶ インプラント体周囲に骨硬化を伴う骨吸収像が出現してきた
- ▶ インプラント補綴部位が動揺してきた
- ▶ 仮着した上部構造がはずれない
- ▶ セメント固定した上部構造のアバットメントが緩んできた
- ▶ 上部構造が破折・脱離した
- ▶ インプラント周囲粘膜に違和感がある
- ▶ 歯肉ラインが隣接歯とそろわない
- ▶ 上部構造が破折・脱離した
- ▶ インプラント上部構造のポーセレンが破折した
- ▶ アバットメント固定用スクリューが破折した
- ▶ アバットメントスクリューが破折した
- ▶ 破損したスクリューがインプラント内に残存している
- ▶ インプラント体のショルダー部分が破折して中ネジが使えない
- ▶ インプラントを支持する唇側骨が裂開しインプラント体が破損した
- ▶ インプラント体を撤去する必要性が生じた
- ▶ ブレードインプラントが沈下して上部構造が破断を起こした
- ▶ ブレードインプラントが動揺して機能できなくなった
- ▶ ブレードインプラントと連結した天然歯が破折した
- ▶ 経口BP製剤服用患者のインプラントを撤去しても疼痛が軽減しない
- ▶ 術後数カ月で異常に腫れてきた

COLUMN

破折したアバットメントスクリューを、やむを得ず切削しなくてはならない場合に、回転方向や使用するハンドピースの選択は？/歯肉のバイオタイプ/薬剤関連顎骨壊死などの有害事象に注意を要する薬剤一覧表/嘔吐反射が強い患者/手術に際して患者の血圧が高い/術前の全身状態評価/ミダゾラムによる鎮静/インプラント時の静脈内鎮静法に求められること/インプラント手術時に備えておく救急薬品とその取り扱い/術中・術後管理の要点/術中に呼吸困難に陥った/術中に心不全が起きた/抗血栓薬



関連書のご紹介

『このインプラントなに？ 他医院で治療されたインプラントへの対応ガイド』
 築瀬武史・村上 弘・江黒 徹・竹島明道・野村智義・溝口 尚 編
 国内で使用されてきたインプラントシステムの形態・形状からエックス線像ま

での特徴を掲載したインプラントのエックス線鑑別診断書
 ■A4判変型/244頁/オールカラー ■定価：(本体 10,000円+税)
 ISBN978-4-263-44340-8

切り取り

医歯薬出版 ご注文承り書

インプラント治療 こんなときどうする? () 冊

このインプラントなに? 他医院で治療されたインプラントへの対応ガイド () 冊

ご指定納入店 [()] (納入店ご指定の場合) 直送希望 (代金引換のみのお取り扱いとなります。一回の発送につき送料200円+代引手数料250円が別途かかります。)

●お名前

●ご住所 (〒 -)

●TEL.

★必要事項をご記入の上、FAX. 03-5395-7633にご送信ください。★弊社ホームページ http://www.ishiyaku.co.jp/からもお申し込みいただけます。医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL. 03-5395-7630

インプラント治療 こんなときどうする？

臨床の場で遭遇するさまざまなトラブルケースを取り上げ、それぞれをソリューションに導く“画期的な書”誕生!!

●編集

築瀬武史

(公社)日本歯科先端技術研究所/
(医) 泰峰会 ヤナセ歯科医院

江黒 徹

(公社)日本歯科先端技術研究所/
江黒歯科クリニック

竹島明道

(公社)日本歯科先端技術研究所/
竹島歯科医院

村上 弘

愛知学院大学歯学部 高齢者歯科学講座
口腔インプラント科・教授

●執筆(執筆順)

築瀬武史

(公社)日本歯科先端技術研究所/
(医) 泰峰会 ヤナセ歯科医院

林 揚春

(医) 秀飛会 優ビル歯科医院

鈴木貴規

ニューヨーク大学歯学部
歯周インプラント学講座

斉藤彰久

S・D・C さいとう歯科クリニック/
(公社) 日先研

江黒 徹

(公社)日本歯科先端技術研究所/
江黒歯科クリニック

野本秀材

(医) すみれ会 野本歯科医院/
(公社) 日先研

高橋恭久

(医) 慈世会 高橋スマイル歯科

小倉 晋

日本歯科大学附属病院
インプラント診療センター・講師

高森 等

日本歯科大学附属病院
インプラント診療センター・教授

石井洋行

石井歯科医院/(公社)日先研

竹島明道

(公社)日本歯科先端技術研究所/
竹島歯科医院

下御領良二

サファイア歯科/(公社)日先研

塩田 真

東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科
口腔機能再構築学講座 インプラント・口腔再生医学・准教授

村上 弘

愛知学院大学歯学部 高齢者歯科学講座
口腔インプラント科・教授

野村明広

のむら歯科クリニック/(公社)日先研

栗山壮一

(医) 泰峰会 ヤナセ歯科医院/(公社)日先研

加藤仁夫

日本大学松戸歯学部
口腔インプラント学・教授

安岡沙織

日本大学松戸歯学部
口腔インプラント学

鈴木真名

鈴木歯科医院/日本大学・客員教授

志賀泰昭

(医) 伸正会 志賀歯科医院/(公社)日先研

市川博彰

紀和歯科医院/(公社)日先研

田中 悟

田中歯科医院/(公社)日先研

溝口 尚

(医) 溝口デンタルオフィス/(公社)日先研

加藤大輔

愛知学院大学歯学部 冠・橋義歯学講座・講師

奥森直人

(医) 録森会 おくもり歯科医院/(公社)日先研

野村智義

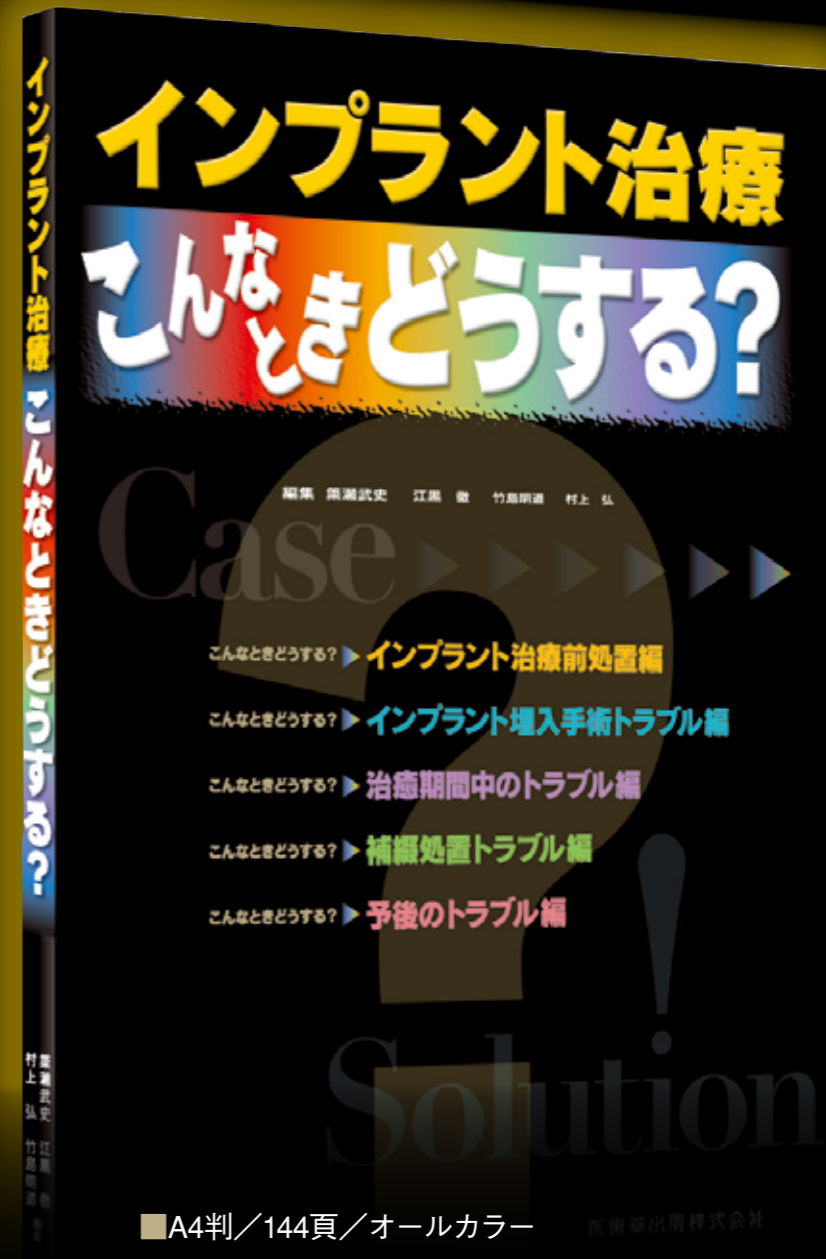
(医) 健湧会 尾澤歯科医院/(公社)日先研

吉田和市

神奈川歯科大学 麻酔科学講座・教授

今泉うの

神奈川歯科大学 麻酔科学講座・助教



■A4判/144頁/オールカラー

■定価：(本体 8,000円+税)

ISBN978-4-263-44397-2

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 http://www.ishiyaku.co.jp

問題となる症例をどれだけリカバリーして、 トラブル症例に落とし込まないためのヒントが満載！



インプラント治療
前処置編

インプラント
埋入手術
トラブル

インプラント治療は急速に普及し、多くの歯科医師が施術を行い、日本において歯科治療の有用な選択肢の一つとなった……。インプラント治療が高額治療であるが故にその責任は重く、インプラント治療に係わる偶発症は常にマスメディアの批判の対象となっている。歯科医療に対する認識の低いマスメディアは、インプラント治療の確実性・不確実性の境界も認識しないまま、時には恣意的な批判まで向けようとする。このような批判はわれわれの意に反し、国民の健康維持に尽力している歯科界の凋落すら表頭している。インプラント治療の不確実性から生じる事象と医療過誤はまったく別物である。しかしながら、インプラント治療に限らず、患者の歯科治療への期待は大きく、施術側評価による治療成果を主張できる医科と比して患者の精神的満足感、審美性ならびに機能性を主体とした評価を受ける歯科には限りなく確実性を求められる過酷さがある。

口腔インプラント学は近年、卒前教育カリキュラムにも取り入れられ、多くの大学研究者ならびに臨床医により基礎研究・臨床研究が確立されてきた。しかし、臨床における急速な普及に伴い、インプラントを取り巻く環境に歪みが生じてきている。前述したようなインプラント治療への批判、未熟な知識の下での施術数の増加、それに伴い生じる諸問題、インプラント患者獲得を目的とした商業主義の跋扈、臨床医の基礎研究への興味の衰退、口腔

インプラント専門医標榜への隘路などがあげられるであろう。この数年間、社会経済の変化やインプラント治療への批判によりインプラント界は減衰し、関係者の当惑を仄聞することもあるが、今こそ呻吟しながらもインプラント治療の本質と患者主体の医療を再度、模索すべき時期であろう。

先般刊行した「このインプラントなに？」はインプラント臨床において予後管理のためのネットワークが確立されていない現在、患者ならびに歯科医療関係者の一助になればとの思いの結晶であった。

今回、「インプラント治療 こんなときどうする？」を刊行することとなった。前述したようにインプラント臨床では思いもよらぬ偶発症や合併症が発現することは多々ある。十分な基礎ならびに臨床の知識を修得していたとしても、気づかない落とし穴や経験則がなければ解決できない事象もある。患者からの信頼を失わないためには適確な判断と早急な対処を行わなければならない。インプラント臨床医が患者から得た信頼を失墜した苦渋は計り知れない。

本書で紹介している多くの臨床例は公益社団法人日本歯科先端技術研究所会員諸氏、大学医療関係者、第一線で活躍されている臨床医の先生方の思いのもとで提供された症例であり、あくまでも一例として問題解決の糸口を示したものである。

(序文より抜粋)

治療
期間中の
トラブル



補綴処置
トラブル編

予後の
トラブル

